

第68回日本リウマチ学会会長 候補者
(2024年4月開催予定)

注：年齢は学術集会開催年の4月1日現在満66歳未満である者
【1958年(昭和33年)4月2日以後生まれの者】

□ 高木 理彰 (昭和36年5月22日生)

山形大学医学部整形外科学講座 教授

推薦者：石黒直樹・渥美達也・松野博明・森雅亮・桑名正隆

所 信：次頁掲載

略 歴： “

業 績： “

令和3年1月 日

一般社団法人 日本リウマチ学会
理事長 竹内勤 先生

推 薦 書

第68回日本リウマチ学会総会・学術集会（2024年4月開催予定）の会長候補として、山形大学医学部整形外科学講座 教授 高木理彰 氏を適任と考えて、ここに推薦いたします。

（推薦者）

愛知県医療療育総合センター 総長
（副理事長） 石黒直樹

石黒直樹 

北海道大学大学院医学研究院 免疫・代謝内科学教室 教授
（理事、北海道・東北支部 代表） 渥美達也

渥美達也 

医療法人社団松緑会 松野リウマチ整形外科 院長
（理事） 松野博明

松野博明 

東京医科歯科大学 生涯免疫難病学講座 教授
（理事） 森雅亮

森雅亮 

日本医科大学大学院医学研究科アレルギー膠原病内科学分野
（理事） 桑名正隆

桑名正隆 

2021 年 1 月 1 日

第 68 回日本リウマチ学会総会・学術集会会長への立候補における所信

山形大学医学部整形外科学講座
教授 高木理彰

今回 2024 年 4 月開催予定の第 68 回日本リウマチ学会（JCR）総会・学術集会の会長に立候補いたしたく、所信を述べさせていただきます。

私は昭和 61 年山形大学医学部を卒業後、山形大学大学院医学研究科に進学し、病理解剖学の研鑽とあわせて樹状細胞・マクロファージを中心とした自然免疫応答の研究に従事しました。同大学院修了後は、山形大学整形外科学教室に入局し整形外科診療全般を学んだ後、1992 年から国際ロータリー財団派遣大学院研究生としてフィンランド共和国ヘルシンキ大学大学院に留学しました。リウマチ学が専門の Yrjö Konttinen 教授のもとリウマチ学の研鑽とあわせて異物肉芽腫性関節炎の研究に従事し 1996 年医学博士号を取得しています。帰国後は日本学術振興会特別研究員、東北大学大学院助手を経て、1997 年から山形大学医学部の教官として、整形外科学、リウマチ学、リハビリテーション医学の複数の分野の臨床、教育、研究に携わってきました。2011 年に山形大学整形外科学講座教授、2013 年から山形大学医学部附属病院副院長を拝命しています。

日本リウマチ学会においては、2003 年より評議員、2017 年より理事を務めさせていただき、委員会では、これまで教育施設認定委員会、情報化委員会、総務委員会、学会誌編集委員会、調査・研究委員会、男女若手共同参画委員会、学術賞選考委員会で活動する機会を得ました。調査・研究委員会では、抗リウマチ薬市販後調査（PMS）小委員会の委員長を 2017 年から、男女若手共同参画委員会では 2019 年から副委員長を拝命しています。PMS 小委員会では、現在、JAK 阻害薬 5 剤をはじめとする抗リウマチ薬や他のリウマチ性疾患治療薬の市販後調査について委員長として担当させていただいています。JCR の official journal である Modern Rheumatology 編集委員会では、2017 年から Transmitting Editor を務め、同誌の発展に貢献して参りました。北海道・東北支部では、2012 年から常任委員を担当し、2017 年には支部学術集会会長を務めました。

第 68 回日本リウマチ学会（JCR）総会・学術総会会長に立候補させていただくにあたり、上記のような本学会における活動経験や、所属する複数の分野の経験もあわせて、以下の学術集会の企画、運営方針を考えています。

1：多様化するリウマチ性疾患領域の診療、研究、教育に直結した学術集会

リウマチ学のめざましい進歩、発展に伴い、求められる知識や技量は飛躍的に高まり、同時に一層多様化しています。このようなリウマチ学の診療、研究、教育における課題をあらためて整理し、これまでの学術集会の継続性を重視しながら、課題の解決に一層寄与する学術集会を目指します。国際化の流れをさらに加速させ、同時に日本の独自性も担保した学術企画、さらに関連する臨床、基礎、社会医学分野との連携の醸成、また専門医制度、男女若手共同参画にも配慮したキャリア形成、また医療経済、医療・患者安全や臨床倫理、多職種連携、小児・移行期医療から超高齢者の幅広い分野のリウマチ性疾患の医療、リウマチ医療の均てん化、AI・IT/ICT・ロボット医療に関連する近未来型医療にも配慮した内容も取り合わせ、JCR の一層の発展に貢献したいと考えています。

2：学術集会のさらなる視点 - コロナ禍と 2035 年問題 -

2024 年の学術集会の時期は、現在、世界が直面しているコロナ禍の影響が色濃く残り、社

会が変容し各分野が様々な影響を受ける可能性とそのリスクを危惧しています。ポスト・コロナを見据え、コロナ禍による社会や医学・医療全般の推移に注目し、それらによりリウマチ学やリウマチ性疾患の医療が直面する課題にも焦点をあて、討議する内容を企画したいと考えています。あわせて一層の顕在化が予想される 2035 年問題は避けて通れない案件のように感じています。これらが相乗的にリウマチ学やリウマチ性疾患の医療に影響する問題を学術集会の視座の一つとして取り入れていきたいと考えています。

以上、立候補にあたり現在考えている所信を述べさせていただきました。的確な運営の継承、進取に対する柔軟な発想と取り組み、そしてバランス・調和感覚をもって誠心誠意尽力する所存です。JCR 理事会のご指導のもと、学術集会委員会ははじめ、関連する委員会や部門の皆様と綿密に連携し、全員で造り上げる学術集会となるよう務め、リウマチ学、リウマチ性疾患の医療に携わる皆様にとって一層魅力のある学術集会を開催したいと考えています。何卒、ご支援、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

略歴書

2021 年 1 月 1 日 現在

【氏名】 高木理彰（たかぎ みちあき） （生年月日 1961 年 5 月 22 日）

【学歴】

1986 年 山形大学医学部 卒業
1990 年 山形大学大学院医学研究科 修了 医学博士
1997 年 ヘルシンキ大学医学部大学院 修了 医学博士（magna cum laude：優秀学位）

【職歴】

1990 年 済生会山形済生病院 常勤医師
1992 年 山形大学医学部附属病院 医員（同年 7 月まで）
1992 年 同 助手（同年 9 月より休職の上、ヘルシンキ大学医学部大学院留学）
1994 年 日本学術振興会 特別研究員 (PD)
1996 年 東北大学大学院 障害科学分野 助手
2000 年 山形大学医学部附属病院 リハビリテーション部 助教授（2007 年 准教授）
2008 年 山形大学医学部附属病院 整形外科診療科長 / リハビリテーション部長
2012 年 山形大学医学部 整形外科科学講座 主任教授
2013 年 山形大学医学部附属病院 副病院長 現在に至る

【資格等】

1986 年 医師免許 医籍登録 第 295825 号
1990 年 病理解剖資格認定 第 5642 号
1994 年 日本リウマチ財団 登録医 第 3194 号
1995 年 日本整形外科学会 専門医 第 111144 号
1995 年 日本リウマチ学会 専門医 第 5186 号
1995 年 身体障害者福祉法 15 条指定医（肢体不自由）（指令障第 67 号）
1996 年 厚生省義肢装具等適合判定医師 第 3392 号
2001 年 日本リハビリテーション学会認定臨床医 第 5583 号
2003 年 日本医師会認定産業医 第 0202053 号（-2008 年）
2003 年 日本整形外科学会 リウマチ専門医 第 5186 号
2004 年 日本リウマチ学会 指導医 第 1123 号
2006 年 外国人臨床修練指導医認定 第 2632 号
2007 年 日本リハビリテーション医学会 専門医 第 1489 号
2007 年 日本がん治療認定機構暫定教育医 第 074747 号（-2018 年）
2009 年 日本リハビリテーション医学会 指導責任者 第 90903 号
2014 年 難病指定医 06S0000501（指令障第 248 号）
2018 年 小児慢性特定疾病指定医 （第 0601100603 号）
2020 年 日本人工関節学会認定医 （第 010308 号）

【主な所属学会および役員等】

- * 日本リウマチ学会（評議員 2003 年-、北海道東北支部常任委員 2012 年-、理事 2017 年-、PMS 小委員会委員長 2017 年-、北海道東北支部学術集会会長 2017 年、男女共同参画委員会副委員長 2019 年-）
- * 日本整形外科学会（代議員 2012 年-、学術研究企画委員会委員長 2017 年-）
- * 日本リハビリテーション医学会（東北地区幹事 2012 年-、代議員 2016 年-）
- * 日本リハビリテーション連携科学学会（学術集会会長 2012 年、理事 2013 年-2016 年）（-2019 年）
- * 日本リウマチの外科学会（評議員 2007 年-、理事 2017 年-、学術集会会長 2020 年）
- * 日本股関節学会（評議員 2010 年-、理事 2015 年-、学術集会会長 2022 年:予定）
- * 日本人工関節学会（評議員 2012 年-、理事 2019 年-）
- * 東日本整形災害外科学会（評議員 2010 年-、理事 2017 年-）
- * 日本運動器科学学会（評議員 2012 年-）
- * 日本骨折治療学会（評議員 2012 年-）
- * 日本手外科学会（評議員 2012 年-2014 年）
- * 日本骨感染症学会（評議員 2019 年-）
- * 日本臨床リウマチ学会（評議員 2020 年-）

【受賞歴等】

- 1992 年 国際ロータリー財団 海外大学院留学奨学生（ヘルシンキ大学医学部）
- 1992 年 フィンランド共和国 整形外科災害外科 基礎研究奨励賞
- 1992 年 ノルウェー王国 NYCOMED PHARMA'S 医学研究奨励賞
- 1993 年 ヘルシンキ大学 外国人大学院留学生 研究奨励賞
- 1994 年 国際整形外科災害外科基礎学会 SORFI AWARD
- 1997 年 上原記念生命科学財団 研究奨励賞
- 1999 年 日本リウマチ財団 骨関節疾患 研究奨励賞
- 2003 年 Finland Academy Traveling Fellowship（客員教授）
- 2004 年 日本股関節財団 研究奨励賞
- 2004 年 Sigrid Juselius Foundation Traveling Fellowship（客員教授）
- 2011 年 山形大学医学会 特別賞金賞

【主な研究・教育・社会活動等】

- * 厚生労働省研究事業
 - 免疫予防疾患・治療研究事業 関節リウマチ重症化防止のための早期診断法
分担研究員（2006 年-2009 年）
 - 特発性大腿骨頭壊死症の疫学調査・診断基準・重症度分類の改定と診療ガイド
ラインを目指した大規模他施設研究 分担研究員（2013 年-2017 年）
 - 特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者の QOL 向上に関する大規模他施設研究
分担研究員（2017 年-）
 - 脊椎関節炎の疫学調査・診断基準作成と診療ガイドライン策定を目指した大規模
多施設研究 分担研究員（2017 年-）
- * 国際整形外科基礎学会（ICORS）（ICORS International College of Fellows 2016 年-）

* 米国整形外科基礎学会 (ORS)

国際委員会 委員 (2013 年-2019 年)

Career Development and Mentoring Council (2019 年-)

* フィンランド共和国 TULES 名誉会員 (2001 年-)

* Editorial Board Member

1) Journal of Orthopaedic Science (Associate Editor: 2013 年-)

2) Modern Rheumatology (Editorial Board / Transmitting Editor: 2017 年-)

* Consulting Reviewer

Acta Orthopaedica Scandinavica, Clinical Orthopaedics and Related Research, Journal of Rheumatology, Rheumatology International, Osteoarthritis and Cartilage, Stem Cell Research, Geriatrics and Gerontology International, Journal of Biomedical Materials Research, Clinics in Orthopaedic Surgery, Open Orthopaedics, Biomedical Research International

* 競争的資金等の助成による研究課題

- 1) 人工関節の生体親和性に関する研究 人工関節の生体親和性に関する研究 (代表). 文部科学省科学研究費補助金 特別研究員奨励費, 1994-1995.
- 2) 人工関節周囲骨溶解現象 (オステオライシス) に関する基礎研究 人工関節周囲骨溶解現象 (オステオライシス) に関する基礎研究 (代表). 文部科学省科学研究費補助金 奨励研究 A, 1998-1999.
- 3) 遺伝性ある上肢先天異常の症例調査 (関連遺伝子分析の国際共同研究の準備) (分担). 文部科学省科学研究費補助金 基盤 C, 2001.
- 4) 人工股関節周囲組織の分子病態に関する研究. 日本リウマチ財団調査研究助成金, 2001.
- 5) 人工股関節周囲骨溶解機構に関する研究 (分担). 文部省科学研究費補助金 国際学術共同研究 基盤 A2, 1999-2001.
- 6) 高齢者股関節機能改善のための機能再建、リハビリテーションに関する研究 (分担). 山形県高齢者特別対策事業助成金, 2002.
- 7) 加温滅菌処理細片化同種骨の骨再造形に関する基礎研究 (分担). 文部省科学研究費補助金 基盤 B, 2000-2002.
- 8) 生体材料摩耗粉及び炎症性サイトカインによる破骨細胞形成の修飾とその制御 (分担). 文部省科学研究費補助金 基盤 C, 2000-2002.
- 9) 無侵襲リウマチ性骨関節病変早期診断のためのレーザ光 CT に関する研究 (分担). 文部科学省科学研究費補助金 革新的技術開発研究推進研究, 2001-2002.
- 10) ラット脊髄・後根神経節における脂質性二次メッセンジャー代謝酵素の遺伝子発現解析 (代表). 文部科学省科学研究費補助金 萌芽, 2001-2002.
- 11) 内軟骨性骨化における軟骨吸収のメカニズムの解明: 破骨細胞についての研究 (分担). 文部科学省科学研究費補助金 萌芽, 2001-2002.
- 12) ラット一次感覚神経細胞におけるジアシルグリセロールキナーゼの関与 (分担). 文部科学省科学研究費補助金 萌芽, 2002-2003.
- 13) 手指の関節再生を導く遺伝子治療の開発: 関節発生の機構解明とその応用 (分担). 文部科学省科学研究費補助金 基盤 C, 2003-2004.
- 14) 人工股関節素材摩耗粉に対するマクロファージ反応性の基礎研究 (代表). 日本股関節

財団研究助成金, 2004.

- 15) 腎臓リハビリテーションの確立：進行性腎疾患における運動療法の有効性の機序解明（分担）．文部科学省科学研究費補助金 基盤 B, 2004-2005.
- 16) 手指の関節再生を導く遺伝子治療の開発- 関節発生の機序解明とその応用 -（分担）．文部科学省科学研究費補助金 基盤 C, 2004-2005.
- 17) 微弱電気刺激による筋力維持・廃用防止と血管新生法の確立：リハビリ物理療法の新展開（分担）．文部科学省科学研究費補助金 萌芽, 2004-2005.
- 18) 糖尿病性腎症におけるリハビリテーション運動療法有効性の機序解明（分担）．文部科学省科学研究費補助金 基盤 C, 2005-2006.
- 19) リウマチ性上肢機能障害評価に関する研究（分担）．日本学術振興会外国人研究者事業（短期）, 2007.
- 20) エビデンス確立に向けての腎臓リハビリテーションの基礎的検証（分担）．文部科学省科学研究費補助金 基盤 B, 2006-2007.
- 21) 人工股関節素材摩耗粉に対する DGK 依存性骨髄マクロファージ反応機構の解析（代表）．文部科学省科学研究費補助金 基盤 C, 2005-2008.
- 22) 関節リウマチの重症化防止のための臨床的早期診断法と早期重症化診断法に関する研究（分担）．厚生労働省免疫アレルギー 疾患予防・治療研究事業（免疫・一般）助成金, 2006-2008.
- 23) 難治性関節炎の病態解析、治療に関する教育研修プログラム（代表）．日本財団 ジンマー研究助成金, 2009.
- 24) 人工関節の生体親和性に関する研究（代表）．日本学術振興会外国人研究者事業（短期）, 2010.
- 25) 壊死骨の再生促進に関する研究：自家成長因子を用いた骨再生促進とその臨床応用の開発（分担）．文部科学省科学研究費補助金 基盤 C, 2008-2010.
- 26) 人工股関節インプラント感染症における自然免疫機構 Toll 様受容体の機能解析（代表）．文部科学省科学研究費補助金 基盤 C, 2009-2011.
- 27) 人工関節感染症における自然免疫系受容体 TLR と NLR の機能解析（代表）．日本学術振興会 科学研究費 基盤研究（C）, 2012-2014.
- 28) 人工股関節インプラント感染症における自然免疫機構 Toll 様受容体の機能解析（代表）．日本学術振興会 科学研究費 基盤研究（C）, 2011-2015.
- 29) 関節リウマチの発症早期と薬剤耐性期における自然免疫系の検討（分担）．日本学術振興会 科学研究費 基盤研究（C）, 2018-2019.
- 30) 自然免疫受容体と選択的オートファジーから探る人工関節インプラント感染症の病態（代表）．日本学術振興会 科学研究費 基盤研究（B）, 2018-2020.

* 研究業績一覧

1) Research Map : https://researchmap.jp/michiaki_takagi

2) Research Gate : https://www.researchgate.net/profile/Michiaki_Takagi